



第71号

令和3年10月15日

〈発行〉島田市立総合医療センター

事業管理者 青山 武

〈編集〉広報委員会

子どもの食物アレルギーについて

〜当院では積極的に食物経口負荷試験を行っています〜

小児科 植田太輔

2021年4月より当院小児科に赴任しました植田です。アレルギー診療を積極的に行っており、食物経口負荷試験（以下「負荷試験」）も可能になったため、食物アレルギーのことを記載させていただきます。

*食物アレルギーについて

食物アレルギーは、卵や牛乳のアレルギーを代表として、乳児期の10%、幼児期の5%のお子さんが持ち、多くの方にとって身近なもの一つだと思えます。そんな食物アレルギーの診療は、ここ10-20年で多くの知見が得られ、まさに180度異なる方針になったことをご存知でしょうか。以前は、原因食物を徹底的に除去することが基本でしたが、現在は、負荷試験による診断と必要最小限の除去（安全な量を食べていく）となり、「除去」から「食べていく」に変わってきています。

負荷試験とは、アレルギーが疑われる食べ物を実際に病院で食べてみることです。これによりアレルギーがあるかの診断、アレルギーがあっても食べられる量の確認が可能です。もちろん日常生活ではアレルギー症状を起こさないことが望ましいです。このために最も確実な方法は、原因食物を食べないことであり、以前は検査で陽性だったものは、一度も食べずに除去することも少なくありませんでした。しかし、現在は、むやみに除去することはリスクを高める可能性があり、なるべく避けるべきと考えられています。そのリスクは① 治りにくくなる可能性が上がる、② 誤って食べてしまった時に強い症状が起こる可能性が上がる、③ そもそもアレルギーがない（もしくは治っている）かもしれないことです。特に負荷試験が一般的になつてから、血液検査が陽性でも、必ずしも症状が出るとは限らないことがわかってきています。

そのため、当科でも負荷試験を基本として、必要最小限の除去を勧めています。もちろん少量でアナフィラキシーを起こす重症のお子さんや、状況によっては、完全除去をせざるを得ない



こともありますが、重症度を把握するためにも負荷試験は大切であると思います。負荷試験は、0歳から行っていますので、お気軽にご相談いただければ幸いです。

*食物アレルギーの予防

予防に関する現在の一般的な考え方は、乳児期に肌をきれいにして、食べ始めをなるべく遅くしないことです。2019年に厚生労働省の離乳食ガイドでも卵は離乳食初期から開始するよう変更になりました。ただ、アレルギーを起こしやすいお子さんは注意が必要です。

なお、近年乳幼児のナッツアレルギーが非常に増えています。これは、家庭での消費が増え、環境中にナッツ類の抗原がたくさんあることが原因の一つと考えられます。ナッツ類を乳児が食べることは予防や治療であっても難しいので、アレルギーのリスクがあるお子さんのお宅では環境調整を行うことが望ましいです。ご不安な場合は、ぜひご相談下さい。

最後に、現在も様々な研究がされており、今正しいと思われることが10年後にも正しいかどうかはわかりません。アレルギー診療では、特に日々情報をアップデートする必要性を感じます。今後



公式ウェブサイト



公式FaceBook

もくじ

- 子どもの食物アレルギーについて… P1
- 新病院建設通信 …… P2
- 病棟内フリーWi-Fiについて… P2
- NST活動について …… P3
- 院内施設のご紹介 …… P3
- 医師診療表 …… P4

新病院への来院ルートが変わりました

新病院建設通信

22

病院建設課

旧救急センター棟の改修工事が完了し、9月27日(月)に人工透析センターが1階にオープンしました。これに伴い、旧病院解体工事が始まり、下図のとおり新病院への来院ルートが変わりました。次の点にご注意ください。

①北東駐車場から正面玄関へのルート

・病院北東駐車場から東側に迂回し、業者搬入通路を
通って正面玄関(開錠時刻 平日午前7時45分〜午後6
時)までお越しください。

・業者車両に注意し、交通誘導員の指示に従ってください。

※工事状況により、ルートが変更になる場合がございます。

②ロータリーから新病院へのルート

・旧病院正面玄関前のロータリーは、引き続きバス停、
タクシーのりば、送迎車両停車場所としてご利用できま
す。

・ロータリー内に仮設の車いす駐車場を設けました。

・ロータリーから来院される方は、人工透析センター入口
(終日開錠)からお入りください。

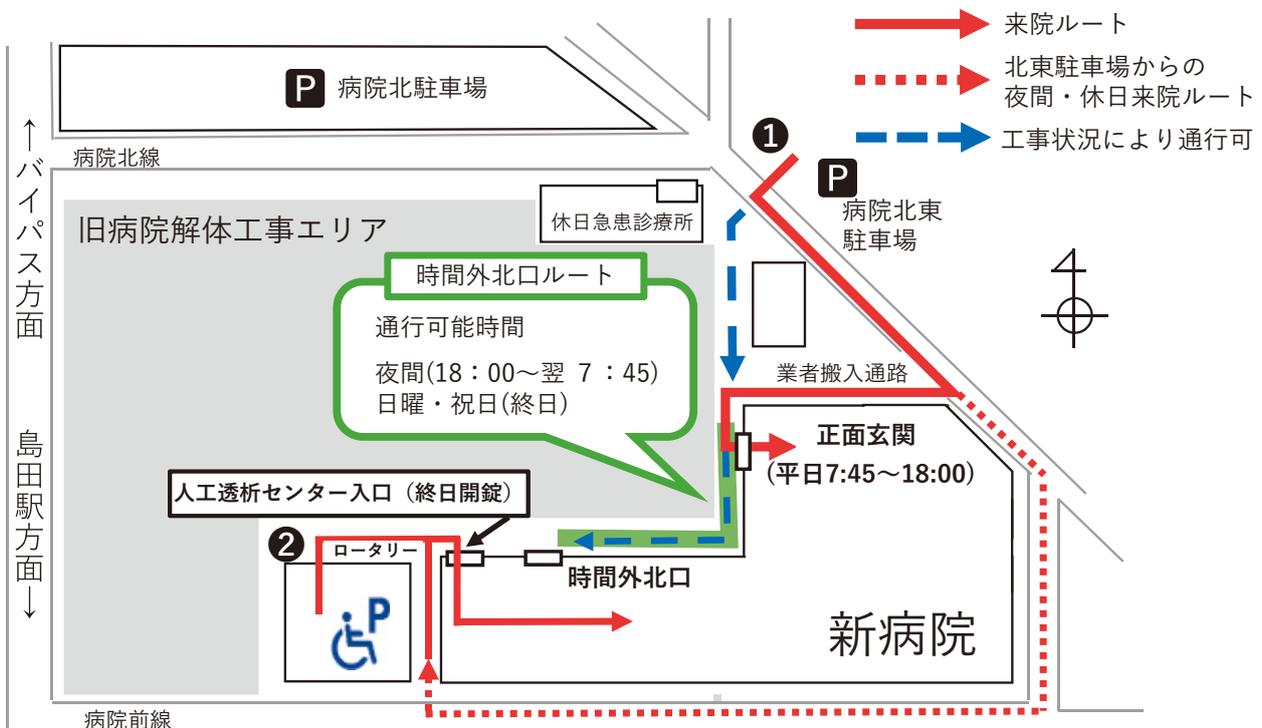
・夜間・休日に来院される方は、人工透析センター入口
からお入りください。

※病院北東駐車場から時間外北口までのルートについて、
当面の間、夜間(午後6時〜午前7時45分)及び日曜・
祝日(終日)は通行可能です。

【今後の工事予定】

令和3年度末まで解体工事および県道側の外構工事を
行います。順次、新ロータリー部分、駐車場部分の工事を
進めます。工事期間中、ご不便をおかけしますが、ご
理解とご協力をお願いします。

新病院出入口案内図



当医療センターの病棟内ではフリーWi-Fiが使えます!

病棟内では、フリーWi-Fiを提供しております。
また、11月1日より外来でもフリーWi-Fiをご利用いただけるようになります。
お持ちのスマートフォン等で待ち時間にご利用ください。



NST活動について

栄養室 池田龍平

NST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム)とは、患者さんの栄養管理を専門に行う医療チームのことで、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士などの多職種から構成されています。

栄養状態が悪いと治療の効果が得られにくく、合併症を引き起こすリスクも高くなります。病気や手術、様々な治療などにより十分な食事を摂ることができない患者さん一人一人に合わせた適切な栄養補給方法や、病気の治療・合併症の予防に有用な栄養管理方法の提案などを行っています。また、栄養状態に問題がある患者さんを抽出、評価し、改善を行うことで、入院中だけではなく退院後の栄養管理にも繋がっていきます。

NST活動は、患者さんの栄養状態の改善、各種合併症の予防、さらには入院期間の短縮や医療費の削減などに貢献しています。手術やお薬だけが治療ではなく、食事を含めた栄養管理も治療の一環です。NSTの活動で患者さんの治療の手助けになればと考えております。NSTの介入などについてはお気軽に医師、看護師、管理栄養士にお尋ねください。

NST (栄養サポートチーム) の役割

- ① 栄養評価をおこなう
- ② 適切な栄養評価がなされているかチェックする
- ③ 最もふさわしい栄養管理を指導・提言する
- ④ 栄養管理に伴う合併症の予防、早期発見、治療をする
- ⑤ 栄養管理上の疑問に答える
- ⑥ 資材・素材の無駄を省く
- ⑦ 早期退院や社会復帰を助ける
- ⑧ 新しい知識の取得、志気の向上に努める



NST回診について

全病棟対象に主治医からNST介入依頼があった患者さんについて、NST介入を実施しています。NST回診は週一回、医師を中心に、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士のスタッフが参加しています。回診では、実際に患者さんのお話を伺いながら、栄養状態や嗜好を確認します。そして、患者さんの状態に合った栄養補給方法をチーム内で検討し、最善の栄養管理の提供を行うことで、低栄養の予防や病状の回復促進につなげます。

〜当院における介入の対象としている患者さん〜

- ・ 低栄養の方、今後低栄養が予測される方
- ・ 食欲不振の方
- ・ がんの治療をされている方、手術前後の方
- ・ 経管栄養療法を実施している方（下痢、便秘、嘔吐、逆流などの予防・対応）
- ・ 中等度〜重度の熱傷や褥瘡（床ずれ）の方
- ・ 主治医への提案事例）
 - ・ 食事内容の変更（食事形態、栄養補助食品の変更）
 - ・ 経管栄養（濃厚流動食）の変更
 - ・ 点滴内容、内服薬の調整
 - ・ アルブミンや亜鉛など栄養に関する検査



〈 NST回診の様子 〉

院内施設のご紹介

広報委員会

当医療センターの院内施設には、新たにレストランやコンビニエンスストア、コーヒーマシンが入りましたのでご紹介します。

受診や付添いで来院された際に、ご利用ください。（写真：①ドトールコーヒー、②セブンイレブン、③レストランピアンモール）



①



②



③

